

サマースクール2006年度の報告

ハエとクモ、そしてヒトの祖先を知ろうラボのサマースクール 「ハエとクモの卵を比較しよう。」



今年の私たちの研究室のサマースクールは、「ハエとクモの卵を比較しよう」をテーマに行いました。この企画には2人の若い生徒が取り組みました。ハエとクモの卵を蛍光色素で染色して核が見えるようにして、蛍光顕微鏡で観察しました。何を比較するかは特に決めず、生徒それぞれのセンスに任せて写真を撮ってもらいました。ハエの卵もクモの卵も肉眼で見ればただの小さな粒ですが、染色して顕微鏡で見れば多数の細胞からなる胚が形を作っている様子が良く見えます。顕微鏡を覗いて何を感じるか、何を連想するか、そして何を考えるかはきっと人によって違うはずです。こちらの意図はともかく、2人とも自分が気に入った視野を探して積極的に写真を撮っていました。フィルムはすぐに写真屋さんに出してプリントしてもらいましたが、残念なことに、出来上がった写真は露出の問題であまりいいものではありませんでした。それでも、参加してくれた生徒の頭には顕微鏡を通して見た像がしっかりと焼き付いていると思います。

小田広樹（研究員）

ハエとクモ、そしてヒトの祖先を知るラボ

生命の不思議に触れられた

ぼくは、サマースクールでオオヒメグモとキイロショウジョウバエの卵を観察しました。二日間でしたが、成長していく卵を見て生命の不思議に触れられたと思います。

また来年も、ぜひ参加したいです。

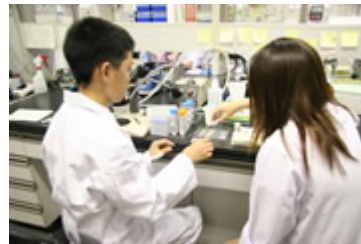
難しいかなと思っていたけど、分かりやすく教えてもらえました。有難うございました。

その後、もらったオオヒメグモの卵を毎日家の顕微鏡で観察して、孵化させました。そのあと、学校に持って行って

(僕は生物部です)、部室で飼育しています。学校では、生物部のみんなで観察しています。

またBRHに行きたいと思います。

有難うございました。



(中学生)

五感をよく使ったな～

今回のサマースクールは大変に収穫の多い、貴重な経験ができたと思います。私自身サマースクールが始まるまでは不安の気持ちが大きかったです。科学リテラシーの低い私に、どのような発見が出来るのであるかビクビク・オドオドしていました。しかし、所属していたラボの皆さんはじめ多くの方と共に素晴らしい施設で、素晴らしい実験を行うことができ、二日間があっとゆう間に終わってしまったように思いました。特に一日目などは終了時間を大幅を超えてまで、大学院の方に付き合っただいて、予定にはない実験までさせていただきました。

私は今回高槻に行って感じたことは、『五感をよく使ったな～』ということです。私のように、都心近くの少し閉塞されたような環境に身を置いている者は、なかなか五感をフルに使う機会に恵まれないのですが、今回そちらにお邪魔させていただいて普段使わないような感覚を使う、よい機会となりました。このサマースクールは幅広い(年齢・住んでいる場所)人間の集まる特殊な空間でした。ちょっとしたアミューズメントよりもアドレナリンの出る空間でした。この空間を準備していただいた多くの方々に感謝を述べたいと思います。

素敵な二日間を本当にありがとうございました。以上でサマースクールの感想とさせていただきます。

(大学生)



▲このページの上にもどる

CLOSE

Javascriptをオフにしている方はブラウザの「閉じる」ボタンでウィンドウを閉じてください。